

臨床研究に関する情報公開

＜人を対象とする医学系研究に関する倫理指針＞に基づき、研究の実施について下記のとおり情報を公開します。

研究結果は学会等で発表される事がありますが、その際も個人を特定する情報は公表しません。

★本研究の対象となられる患者さんで本研究にご賛同いただけない方や、研究計画、研究方法、または個人情報の取扱いなどについてお問い合わせがある場合は、下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。

★研究不参加を申し出られた場合も、不利益を受けることはありません。

＜研究課題名＞

心血管イベントを発生した冠動脈起始異常症例における Clinical Profile および治療後の予後についての後方研究

＜研究機関・研究責任者名＞

主研究機関：日本大学医学部附属板橋病院循環器内科

当院【研究責任者】災害医療センター循環器内科医長 清水茂雄

＜研究期間＞

2017年8月1日～西暦2017年12月31日

＜研究の目的と意義＞

冠動脈起始異常、つまり心臓を栄養する血管が本来の場所とは違う場所から出ている患者さんは、心筋梗塞や狭心症などの心血管イベントや突然死のリスクの高いことが報告されています。しかしこれらは、一例報告でしか報告されていないのが現状であり、これらの患者さんのとるべき治療法やその後の生命予後については大きな臨床試験がなく、全く分かっておりません。また冠攣縮、つまり冠動脈が痙攣して内腔が閉塞してしまう病態の合併も、心血管イベントの発生の引き金となっていると推測されていますが、その機序も全く分かっておりません。そのため、本研究では心血管イベントを起こした冠動脈起始異常の患者さんを対象に、冠攣縮を含めた臨床的特徴や治療方法の選択、および予後の調査を行い、治療法の確立を目指します。

＜対象となる患者さん＞

1980年1月1日～2016年12月31日の期間に、心筋梗塞、狭心症、失神や心肺停止を含む心血管イベントにより当院を受診され、冠動脈起始異常がその原因であったと診断された患者さん

＜研究の方法＞

本研究は、患者数が少ないまれな病気のため、多施設共同観察研究を行います。各施設で、心肺停止、心筋梗塞、狭心症症状および失神などの症状を含む心血管イベントにより受診された冠動脈起始異常の患者さんを対象とします。具体的には、患者さんの年齢、性別、診断名、病歴、心電図、負荷心電図、心筋 SPECT、心エコー、CT、血液検査(NT-proBNP、CK、CKMB、トロポニン I)、冠動脈造影、治療方法と治療経過を調査します。すでに施行した検査結果を使用しますので、今後検査や治療を追加する必要はなく、したがって患者さんの不利益を引き起こすような合併症などの心配の必要もありません。

＜お問い合わせ窓口＞

研究担当者 循環器内科 大野正和

〒190-0014 東京都立川市緑町 3256 番地 災害医療センター循環器内科

TEL : 042-526-5511